



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために



第10回例会 2021.12.1 (水)

■出席率 会員70名中 50名出席 71.43%
修正56名出席 80.00% メイクアップ6名

◆会長挨拶 一條 浩孝 会長

今日は12月1日です。あっという間に師走を迎えました。今月をもって今年度も半分が終わってしまいます。次週の例会では年次総会が行われ、新たに次年度の理事役員が選出される事になっています。本当に月日の流れは早いものです。ロータリーに限らずだと思いますが「気が付いたら終わっていた」ということのないよう、きちんと目的意識を持って残りの任期を全うしたいと思っております。



ここで年末年始の事業につきましてご連絡させていただきます。福島市内8RC新年会準備協議会で検討されておりました年明けの市内合同新年会ですが、予定通り1月4日に開催されることになりました。ただし、昨今のコロナ情勢から懇親会は行わない、ということも合わせて決定されております。これを踏まえ、大変残念ではありますが当クラブの新年会は中止、クリスマス忘年会につきましても中止とし、昼の時間帯で通常の例会として開催することが先月の理事会で決定しております。今現在の日本の状況を考慮すれば開催は可能だったかもしれませんが、開催するための準備期間はどうしても必要ですので、開催の是非はその時点での状況から判断せざるを得なかったということをご理解いただければと思います。



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために



さて、今日の例会も会員スピーチがございます。

今回は青野浩文会員によります『電力70年の感謝』と、大本雅晴会員によります『私の仕事内容の紹介について』となっております。私も今年電気自動車に替えましたので、これからの脱炭素社会に向けての動向などについて大変興味があります。そのあたりのお話もお聞かせいただけるかもしれませんので、楽しみにしております。大本会員につきましては昨年もスピーチしていただいたと思いますが、確かその時に「次回に続く」のような終わり方をされたと記憶しております。早速の登板ということで、こちらも楽しみにしております。

最後に、この間の日曜日、今年度最後のゴルフコンペがありました。優勝者は宍戸隆司さんでした。おめでとうございました。さすがは次年度の幹事、気合の入りが違うようです。次年度のご活躍がますます楽しみになりました。期待しておりますので、よろしく願いいたします。

◆誕生祝い

齋藤弘之親睦活動委員長から、12月に誕生日を迎えられた会員を同じ誕生日の有名人と合わせてご紹介し、一條会長から「誕生祝」が贈られました。

武藤 正隆 会員 S19. 12. 11

大本 雅晴 会員 S46. 12. 25

おめでとうございます。





奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために



◆ロータリーの友読みどころ ロータリー情報教育委員会 横山りつ子委員

ロータリーの友12月号の読みどころについて講義いただきました。

- ・シリーズこの人訪ねて
村田裕之さん（いわき小名浜RC）の
明るい素顔
- ・ロータリーアットワーク
富岡RCのキラキラ笑顔で海岸清掃
- ・疫病予防と治療月間
コロナ禍でも「元気に過ごすコツ」
- ・特別インタビュー
東京パラリンピック陸上女子マラソン
金メダル道下美里選手（富岡のRC会
員）のご活躍 などをご紹介します。



福島で多くの方とお会いし、これからも病気にならないよう健康でロータリー活動していきたいと思います。

◆会員スピーチ7 青野浩文会員 「電力70年の感謝」

おかげさまで東北電力は今年5月1日に創立70周年を迎えました。これまで当社を支えていただいたお客さま、地域の皆さまに、改めて深く感謝申し上げます。

まず初めに「福島県の電気の歴史」について少し触れたいと思います。

今から遡ること126年前の1895年（明治28年）11月に福島電灯が庭坂の天戸川上流に30kWの小さな水力発電所を造って初めて電灯を灯したのが福島の電気の発祥と言われています。それ以降大正から昭和の初めまでには、県内各地に50社以上の電気会社が出来て川に水力発電所を造り、電気が灯りだけでなく産業用の熱や動力としても使われるようになりました。日本が戦争に突入する昭和10年代になると国家総動員法で電力も国家管理とするために日本発送電という国策会社が





奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために



出来て全国の発電送電設備を接収管理し、併せて配電会社をブロックごとに統制することとなり、東北の電気会社が東北配電に統合されました。第二次世界大戦終了後にGHQが集中化排除を目的に電気事業の再編も行われ、70年前の1951年（昭和26年）5月1日に、東北電力は発電・送電・配電を一貫して行う、全国9地区に発生した電力会社の一つとして誕生しました。

創業当時の時代背景として、戦後復興が大きな社会問題となっており、経済再建に向けた国内資源の有効活用策として、東北では河川総合開発による食料増産、水力資源開発、電力利用産業の発展が重要とされていました。当社の初代社長の内ヶ崎賛五郎は「日本の再建は東北から、東北の開発は電力から」をモットーに事業を展開し、特に会津只見川水系の水力電源開発を東北のみならず日本の復興に必要不可欠と位置付け、会社の総力を挙げて取り組みました。1952年（昭和27年）の沼沢沼発電所の運転開始を皮切りにわずか3年余りで宮下、柳津、片門、上田、本名の水力発電所が開発されました。初代会長の白洲次郎も、英国製のランドローバーを自ら運転し、足繁く建設現場に通ったそうです。昨年7月金山町に当社初の水力発電PR施設、奥会津水力館「みお里」がオープンし先般ご来館者が3万人に達しましたが、奥会津における水力電源開発は当社の原点でありルーツとも言えます。

加えて1995年（平成7年）には柳津西山地熱発電所が、1997年（平成9年）には原町石炭火力発電所が当社の供給力に加わり、今日に至るまで福島の電気を支えています。当社は創立から今日に至るまで、「東北の繁栄なくして当社の発展なし」との基本的な考えのもと、「地域社会との共栄」を経営理念として事業を進めています。

続いて、「東北電力グループの主な社会奉仕活動」についてご紹介いたします。

① 地域協調活動

各事業所周辺の定期的な清掃活動、各地お祭り・行事への参加、自治体への街路灯の寄贈、まちづくり専門家の派遣、事業所無線鉄塔のライトアップ、各事業所長のロータリークラブ入会など

② 未来を担う子供たちの成長の支援活動

小中学校へエネルギー出前教室、スクールコンサート、中学生作文コンクール、ミニバスケットやサッカーなどの冠スポーツ大会など

③ 環境問題への取組み

特にカーボンニュートラル CO2 削減に向けて、再生可能エネルギーの最大限の活用、火力発電の脱炭素化、電化社会の実現など

④ 災害時の対応力の強化（本業ですが）

近年多発・激甚化する自然災害に備え、日々の設備の保守に加え、訓練の実施、各自治体との災害時協力協定の締結、全国電力会社間の復旧応援体制の構築など

さらに「創立70周年」を記念し、福島オリジナルの活動も色々展開しており、その一つ



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために



に福島の良い風景をバックにした電力設備や作業風景などを紹介するポストカードを作成し県内の道の駅で無料配布しています。南RC会員の皆さんにはぜひ当社の会津や浜通りの発電所などの施設見学にご案内できる機会があればと思っております。

時代の変遷とともに当社を取り巻く事業環境も大きく変わり、未曾有の東日本大震災による大停電を経て、電力小売りの全面自由化や送配電部門の分社化、至近においては、人口減少や少子高齢化、デジタル化、脱炭素化などが進展しています。こうした変化に伴い、地域のニーズも当社の地域への向き合い方も変わっていく部分ではありますが、引き続きグループスローガン「より、そう、ちから。」のもと、私自身もその一端を担って、電力の安定供給に加えて、地域や社会が直面する課題の解決に役立つ取組みを進め、今後とも福島の復興・発展に貢献してまいりたいと思っております。

◆会員スピーチ8 大本雅晴会員 「私の仕事内容の紹介について」

こんにちは。

株ダイキアクシスに勤務している大本雅晴です。前回・前々回までのスピーチで個人の話をしており、最近、皆様からどんな仕事内容??と聞かれる為、このタイミングではありますが、私の仕事内容を再度説明させて頂き、ぜひ知っていただきたいと思っております。ただその前に私事ではありますが、私の個人情報のおさらいもしておきたいと思っております。なんだ結局、個人のことを話すのかと思われたかもしれませんが、少しお話しします。私は福島に着任して今年10月16日で6年目と



になりました。広島県呉市生まれで広島市に家族だった方々が居ります。子供も3人おりましたが、大学生と高校生の娘と中学1年生の息子がおります。昨年もこの時期にお話ししましたが、コロナ禍という状況もあり、現在3年間家族に会わない状況を継続しております(笑)ここは、少し笑って頂くところではありますが、先日、2人の娘からLINEが届きまして、2人の写真が添付されておりました。大体、この時期に写真など送られて来るのは、せいぜいクリスマスと正月も近いからだど、鈍感な私でも流石に気が付きましたが、しかし、3年ぶりの娘の姿は、誰か全くわからない程に変貌を遂げており、思わずLINEで、どちら様の娘さんですか?と返信した次第です(笑)。子供の成長は早いと聞きますが、あまりの速さ



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために



に驚いた次第です。それでは、私の話しがあまり受けなかったところで、会社概要を説明します。社名は株式会社ダイキアクシスといいます。私は、その福島営業所の所長をしております。後ろの画面をみてください。

コーポレートスローガンは、SDGSへの貢献です。

SDGs（エスディーゼイズ）とは、「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称であり、2015年9月に国連で開かれたサミットの中で世界のリーダーによって決められた、**国際社会共通の目標**です。

ダイキアクシスは、特に⑤ジェンダー⑥水・衛生⑦エネルギー⑧成長・雇用⑩生産・消費⑬気候変動に着目しています。私の仕事で特に関係するのが、⑥水・衛生（安全な水とトイレを世界中に）です。後で少しお話しますが、特に水とトイレに関して浄化槽という技術は海外でもJohkasou（ジョウカウ）で通っており、島国日本ならではの処理技術なのです。

話しは少し戻しまして、

本社は、愛媛県松山市と東京都中央区に2か所本社となります。

事業内容は、① 各種排水処理装置の設計・施工・維持管理

② 合成樹脂等による製品の製造販売及び設計施工

③ 各種建設材料・住宅設備機器の販売・施工

④ 小型風量発電機の製造・販売

⑤ 飲料水の製造・販売

⑥ 植物系廃食油を原料とするバイオディーゼル燃料の精製・販売
及び精製プラントの販売

⑦ 太陽光発電に係る売電事業（DCMジャパンホールディングス
ホームセンターの建物の屋根への設置事業）などがあります。

この中でも、私がメインで仕事をしているのが、①と②です。いわゆる、水処理事業です。

売上高34,647百万円（連結）・経常利益1,211百万円です。

ダイキアクシスグループ概要では、子会社を活用して環境機器関連事業の補完、海外展開をしております。また、再生可能エネルギー関連事業を子会社で実施しております。

海外拠点は、東南アジアを中心に中国・シンガポール・インド・ケニア等8か所あり、現在インドネシアに注力しておりますが、コロナの影響で苦慮している状況です。

ダイキアクシスグループの概況ですが、コアとなるのは、私が在籍しております環境機器関連事業と住宅機器関連企業の2本柱です。グラフで説明しますが、環境機器関連事業には、福島市に家庭用浄化槽組み立て工場があります。グラフをみてください。

①家庭用合併処理浄化槽 ②排水処理システム ③中水道システム ④上水道（地下飲料化シ



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

ステム) で約51%売上となります。

残り約43%が住宅機器関連事業で、①住宅関連商材 ②公共施設商材 ③外壁工事となります。その他で再生可能エネルギー関連事業です。

沿革は飛ばしまして、ところで、みなさん、先ほど少し話しをしましたが、浄化槽って知っていますか？>>>>>

浄化槽の仕組みを身近なもので考えますと、山があつて川があつて海があります。山から流れでる腐葉土が川を上流から下流に流れていく中で葦や岩等の付着した微生物により少しずつ浄化され最後に海に流れ出るところにはきれいな水になっている。これが自然浄化の流れなのです。これをコンパクトにまとめた物が浄化槽といわれるものです。トイレから出る排水を浄化する装置を単独浄化槽といい、生活排水とトイレ排水の両方を処理する装置を合併浄化槽といいます。現在、河川を汚しているのは生活排水と言われており、単独浄化槽の見直しが環境省で行われ、単独から合併浄化槽へ入れ替えるとその費用に補助金が地域によってでます。更に補助金といえば、環境省から二酸化炭素排出抑制対策事業として、皆さまの事業所や作業場に浄化槽が設置してある場合、機器の更新や入替工事をする場合、CO2削減として環境省から補助金が最大半分です。この補助事業は福島県内でダイキアクシスの実績が多い補助事業です。

話しが少しそれましたので、戻しますが、家庭から出る排水だけでなく、各工場などから出る排水も同様に排水処理をして河川へ流すことが大切となってきます。そこで、微生物を活用して汚れた水をきれいにする装置として浄化槽が必要となります。これは、島国日本が水を大切にしてきた結果だと思っております。私は社会の奉仕活動として、ロータリーの最優先課題であるポリオ撲滅活動にもつながっているのではないかと勝手に考えております。ポリオの感染は汚染水を通じた感染です。是非、浄化槽を使ってきれいな水をつくり発展途上国の感染リスクを減らしていきたいと考えています。

ご清聴ありがとうございました。

◆次回例会 第11回(クラブ年次総会)2021.12.8(水)
レディロータリアンとの交流の集い参加報告